北アメリカ州

名前

問1　アメリカ合衆国の産業発展について述べた文章において、北緯三十七度以南の地域で一九七〇年代から先端技術産業や航空宇宙産業が発達した背景を説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。（2024年 山口県公立入試 類似）

1. 五大湖周辺の石炭や鉄鉱石を資源とした重工業が再編されたため。
2. 温暖な気候に加え、広大な土地や安価な労働力が確保しやすかったため。
3. 大西洋側の港町からヨーロッパへ製品を輸出するのに便利だったため。
4. 冷涼な気候が、精密機器の過熱を防ぐための工場立地に最適だったため。

問2　北アメリカ大陸と南アメリカ大陸の接合部に位置し、大西洋側のカリブ海と太平洋を結ぶことで、世界の海上交通において重要な役割を果たしている運河はどれか。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. セントローレンス海路
2. パナマ運河
3. スエズ運河
4. キール運河

問3　アメリカ合衆国において、北緯37度より南側に位置する、温暖な気候に恵まれた地域を何と呼びますか。この地域は1970年代以降、航空宇宙産業やハイテク産業などの高度な技術を要する産業が急速に発展しました。（2025年 和歌山県公立入試 類似）

1. サンベルト
2. ラテンアメリカ
3. スノーベルト
4. シリコンバレー

問4　アメリカ合衆国の農業は「企業的農業」と呼ばれます。統計上、日本と比べて一人あたりの耕地面積が極めて広く、穀物生産量が多いというデータから読み取れる、この農業形態の経済的な特徴として正しいものはどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. 高度に機械化された大規模経営により、国際競争力のある安い価格での大量生産が可能となっている。
2. 多種多様な野菜や果物を少量ずつ生産することで、消費者の細かいニーズに応える直販を主流としている。
3. 家族経営を中心とした小規模な農家が多いため、政府による手厚い価格保護が不可欠となっている。
4. 労働力を安く確保するために、機械化をあえて制限し、周辺国からの季節労働者に依存している。

問5　アメリカ合衆国の北緯37度以南の地域では、温暖な気候や広大な土地、豊富な労働力を背景に、電子工業や航空宇宙産業などの新しい産業が急速に発展しました。この地域の呼称として正しいものはどれですか。（2026年 茨城県公立入試 類似）

1. スノーベルト
2. シリコンバレー
3. サンベルト
4. 経済特区

問6　国土面積が約27万km2、排他的経済水域が約483万km2であるニュージーランドの統計と比較したとき、約983万km2という世界有数の広大な国土面積を持ち、かつ、それと同時に世界トップクラスの広さを持つ排他的経済水域を併せ持っている国を次の中から選びなさい。（2024年 熊本県公立入試 類似）

1. ブラジル
2. 日本
3. イタリア
4. アメリカ合衆国

問7　アメリカ合衆国のカリフォルニア州、サンフランシスコ南部に位置し、半導体やソフトウェアなどの情報通信技術（ICT）関連企業が高度に集積している地域を何と呼びますか。（2024年 和歌山県公立入試 類似）

1. シリコンアイランド
2. サンベルト
3. デトロイト
4. シリコンバレー

問8　世界を4つの地域に分けて統計を比較した際、土地の面積は4地域中で2番目に広く、人口は2番目に少ないものの、国内総生産（GDP）が他を圧倒して最も高い数値を示している地域はどこか、次の中から選びなさい。（2024年 大分県公立入試 類似）

1. 北アメリカ州
2. ヨーロッパ州
3. アジア州
4. 南アメリカ州

問9　東京を中心として、東京からの距離と方位が正しく表されている地図において、日本から見て北東の方角に位置する広大な面積を持つ国があります。この国は北アメリカ大陸の北部に位置し、鉄鉱石や天然ガスなどの地下資源が豊富ですが、北部の多くは寒冷な気候のため居住に適した地域が限られています。この国の名称として正しいものを選びなさい。（2016年 愛知県公立入試 類似）

1. ニュージーランド
2. カナダ
3. 南アフリカ
4. エジプト

問10　北米における多国籍企業の活動と、メキシコの工業化の背景について述べた文として、正しいものはどれですか。（2015年 岐阜県公立入試 類似）

1. ブラジルなどの南米諸国との経済統合を優先するため、アメリカ合衆国の企業はメキシコから工場を撤退させている。
2. メキシコはカナダと国境を接しているため、北米全域への製品供給が容易であることから、多くの工場が集まっている。
3. 自由貿易協定による関税の撤廃や軽減を活用し、アメリカ合衆国の企業が安価な労働力を求めてメキシコへ工場を移した。
4. メキシコ政府が労働者の賃金をアメリカ合衆国の水準まで引き上げたことで、技術力の高い多国籍企業がさらに増加した。

問11　アメリカ合衆国の人口構成において、カリフォルニア州、アリゾナ州、テキサス州といったメキシコと国境を接する南西部の州で、人口の10%以上を占めている、スペイン語を話す中南米からの移住者やその子孫を何と呼びますか。（2017年 大分県公立入試 類似）

1. 日系アメリカ人
2. アフリカ系アメリカ人
3. ヒスパニック
4. イヌイット

問12　世界の農産物の流通において、アメリカ合衆国はとうもろこしの生産量で世界第1位を占めています。また、世界全体の輸出量における国別割合を示した統計においても、アメリカ合衆国は世界最大のシェアを誇っています。このようなアメリカ合衆国の農業の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 岐阜県公立入試 類似）

1. 広大な土地で大型機械を利用した大規模な農業を行い、自国での消費だけでなく世界各地へ農産物を供給する商業的な農業を展開している。
2. 生産されたとうもろこしの大部分は国内の家畜の飼料やバイオ燃料として消費されるため、輸出量が占める世界シェアは年々低下している。
3. 家族経営を中心とした小規模な農地で、単位面積あたりの収穫量を高める労働集約的な農業を行い、高品質な作物のみを輸出している。
4. アジア州やヨーロッパ州からの輸入農産物に対抗するため、政府が輸出を厳しく制限して国内市場の保護を最優先している。

問13　2015年のアメリカ合衆国と日本・中国の貿易関係について述べた文として、統計上の事実と一致するものはどれですか。なお、同年における日本からアメリカへの輸出額は約1343億ドル、アメリカから日本への輸出額は約640億ドルであり、中国からアメリカへの輸出額は約4841億ドル、アメリカから中国への輸出額は約1167億ドルであったものとします。（2017年 和歌山県公立入試 類似）

1. アメリカと中国の貿易額の差よりも、アメリカと日本の貿易額の差の方が大きい。
2. アメリカから中国への輸出額は、日本からアメリカへの輸出額を上回っている。
3. アメリカは、日本と中国の両国に対して貿易赤字の状態にある。
4. アメリカは、日本に対しては貿易黒字だが、中国に対しては貿易赤字である。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 温暖な気候に加え、広大な土地や安価な労働力が確保しやすかったため。	サンベルトへの産業移転は、雪の多い北東部「フロストベルト」に比べて、暖房費が抑えられる温暖な気候、新しい工場を建てるための広大な用地、そして比較的安価な労働力が揃っていたことが大きな要因です。また、政府による軍事・宇宙関連の投資がこの地域に集中したことも、先端産業の発展を後押ししました。
問2	答え 2 パナマ運河	この運河は1914年に完成し、大西洋と太平洋を接続しています。これにより、船舶は南アメリカ大陸の南端を迂回することなく両大洋を行き来できるようになりました。誤答のスエズ運河はエジプトにあり、地中海と紅海を結ぶものです。
問3	答え 1 サンベルト	アメリカ合衆国の北緯37度線より南の地域は、冬でも温暖で過ごしやすい気候が特徴です。かつては農業が中心でしたが、1970年代以降、安価な労働力や広大な土地を求めて先端技術産業が次々と進出し、人口の流入も顕著になりました。これに対し、五大湖周辺などの旧来の工業地帯はスノーベルトと呼ばれます。
問4	答え 1 高度に機械化された大規模経営により、国際競争力のある安い価格での大量生産が可能となっている。	アメリカの企業的農業は、大規模な土地に多額の資本（機械や化学肥料、かんがい設備）を投入することで、農産物一単位あたりの生産コストを低く抑えています。このため、生産された小麦やトウモロコシなどの穀物は国際市場で非常に強い価格競争力を持ち、「世界の食糧庫」としての役割を果たす要因となっています。
問5	答え 3 サンベルト	北緯37度以南の地域は、日照時間が長いことから「太陽の帯」を意味するサンベルトと呼ばれます。1970年代以降、従来の北東部を中心とした重工業に代わり、この地域で先端技術産業（ハイテク産業）が大きく成長しました。なお、シリコンバレーはカリフォルニア州にある先端技術産業の集積地を指す特定の地名であり、地域全体の呼称ではありません。
問6	答え 4 アメリカ合衆国	アメリカ合衆国は、ロシアやカナダに次ぐ広大な国土面積（約983万km2）を持つとともに、太平洋・大西洋・北極海という複数の海洋に面し、さらにハワイ諸島などの離島を多く所有しているため、排他的経済水域も極めて広大になります。ブラジルも広大な国土を持ちますが、アメリカ合衆国と比較すると排他的経済水域の規模は小さくなります。また、日本やニュージーランドは国土面積に比べて排他的経済水域の割合が非常に大きいという特徴がありますが、国土面積そのものはアメリカ合衆国に遠く及びません。
問7	答え 4 シリコンバレー	北アメリカ大陸の西海岸に位置するこの地域は、近隣の大学や研究機関との密接な連携を背景に発展しました。世界的なIT企業が数多く本拠地を置いており、現代の情報通信技術（ICT）産業を牽引する中心地となっています。
問8	答え 1 北アメリカ州	北アメリカ州は、広大な領土を持つ一方で人口密度はアジア州などと比べて低いという特徴があります。しかし、高度な技術開発や豊かな資源、大規模な産業背景により、地域全体の経済規模を示す国内総生産（GDP）は世界最高水準に達しています。
問9	答え 2 カナダ	カナダはロシアに次いで世界で2番目に広い国土面積を持ちますが、高緯度に位置するため北部の大部分は寒冷な気候（亜寒帯・ツンドラ気候）に属しており、人口の多くは比較的温暖なアメリカ合衆国との国境付近に集中しています。鉄鉱石、石油、天然ガス、ウランなどの鉱産資源が豊富で、それらを世界各国へ輸出する資源大国としての側面も持っています。
問10	答え 3 自由貿易協定による関税の撤廃や軽減を活用し、アメリカ合衆国の企業が安価な労働力を求めてメキシコへ工場を移した。	アメリカ合衆国、カナダ、メキシコの三カ国間では、自由貿易協定（旧NAFTAや現在のUSMCA）によって関税が原則としてかかりません。これに加えて、メキシコの賃金がアメリカ合衆国に比べて安いという条件が揃ったことで、多くの多国籍企業が生産拠点をメキシコへ移転させ、そこで生産した製品を再びアメリカ合衆国などへ輸出する仕組みが定着しました。
問11	答え 3 ヒスパニック	アメリカ合衆国では、メキシコなどの中南米諸国から移住したスペイン語を話す人々をヒスパニックと呼びます。彼らは地理的に近いアメリカ南西部の州に多く居住しており、近年、その人口は急速に増加して、アメリカにおける最大規模のマイノリティ（少数派グループ）となっています。
問12	答え 1 広大な土地で大型機械を利用した大規模な農業を行い、自国での消費だけでなく世界各地へ農産物を供給する商業的な農業を展開している。	アメリカ合衆国は、広大な農地に大型の農業機械を導入する効率的な農業を行っています。特に「コーンベルト」と呼ばれる地域を中心に生産されるとうもろこしは、世界最大の生産量を誇るだけでなく、世界市場における輸出量でも極めて重要な地位を占めており、世界の人々の食生活や産業を支える「世界の食糧庫」としての役割を果たしています。
問13	答え 3 アメリカは、日本と中国の両国に対して貿易赤字の状態にある。	提示された数値を確認すると、アメリカは日本に対しても（輸出640億ドルに対し輸入1343億ドル）、中国に対しても（輸出1167億ドルに対し輸入4841億ドル）、輸出額より輸入額の方が大きくなっています。この状態は両国に対して「貿易赤字」であることを示しており、特に中国との間では、輸入額が輸出額の約4倍に達するほどの極めて大きな赤字が生じていることがわかります。